

言語学講演会のお知らせ

講 師

岩田 彩志

関西大学教授

◆ 日 時 2025 年 7 月 31 日 (木) 14:30~16:30

◆ 会 場 筑波大学人文社会系棟A520

◆ 題 目 Way表現とforce dynamics

◆ 概 要

Jackendoff (1990)は、*Sam joked his way into the meeting.*が*Sam went into the meeting joking.* (ジョークを言いながら、会議に入って行った)とも、*Sam got into the meeting by joking.* (ジョークを言うことにより、会議に入って行った)とも言い換えられることから、way表現にはmannerタイプとmeansタイプがあると主張している。この2種類が存在することは、その後のほとんどの研究で受け入れられている (Goldberg 1995, Israel 1996, Traugott & Trousdale 2013, Perek 2018, Fanego 2018等)。

本講演では、meansタイプとされるway表現を対象として、以下のことを論じる。

- このタイプは、means (手段)タイプでなく、enabling (可能化)タイプと捉えるべきである。
- Talmy (2000)のforce dynamics理論を用いることにより、enabling (可能化)タイプを掘り下げて分析することが可能となる。

◆ 参加登録 (7月29日まで) : <https://forms.gle/wZTJXFcXkDdYaEmS9>

会場準備のため、極力事前登録にご協力ください。会場に余裕があれば、当時参加も可能です。



◆ 問い合わせ先 : 金谷 優 (kanetani.masaru.gb[AT]u.tsukuba.ac.jp)

◆ 情報が更新された場合の最新情報掲載先

筑波大学英語学研究 (<https://www.lingua.tsukuba.ac.jp/eigogaku/>)